様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和７年6月20日

千葉市長　　殿

提出者　千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号
住　所　ﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾞｰﾃﾞﾝ　ﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ棟5F
氏　名　鹿島建設株式会社　東京建築支店
千葉営業所　所長　岡田　友良
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　03-6838-0326

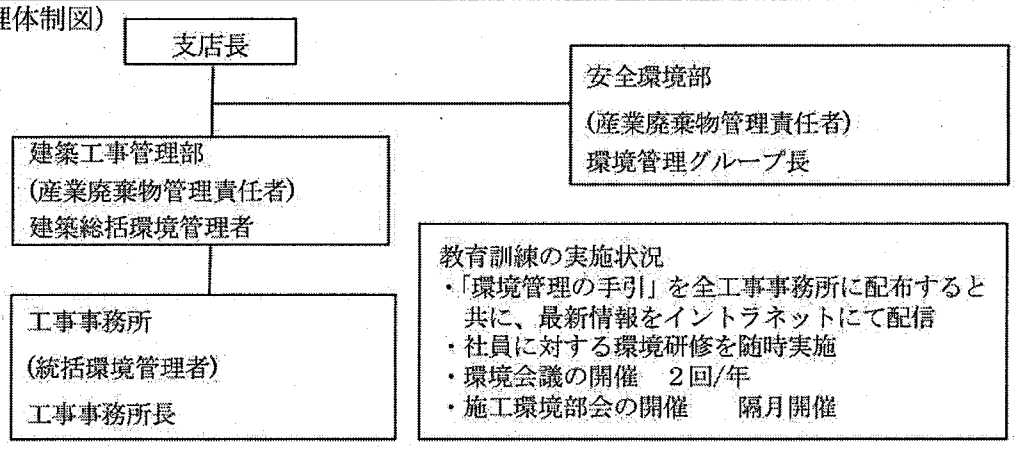
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島建設株式会社　東京建築支店　千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン マリブイースト棟5F
計画期間	令和７年４月１日から令和８年３月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合工事業
②事業の規模	元請完成工事高　975.1億円
③従業員数	425名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１「産業廃棄物の一連の処理工程」参照

（日本産業規格　A列４番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

（管理体制図）



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状

【前年度（令和６年度）実績】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排　出　量	1984.6ｔ	58.4ｔ

（これまでに実施した取組）
・計画搬入の徹底（端材の少ない割付、使う分のみ搬入、残コンの確実な読み等）及び、手待ち・非効率作業の排除を通して、無駄な副産物・仮設・機械・労務の削減

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	がれき類	木くず
排　出　量	1050ｔ	63ｔ

（今後実施する予定の取組）
以下の取組を継続して実施する。
・計画搬入の徹底（端材の少ない割付、使う分のみ搬入、残コンの確実な読み等）及び、手待ち・非効率作業の排除を通して、無駄な副産物・仮設・機械・労務の削減

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
■ゼロエミッション活動の継続実施
・工種や施工段階に応じた分別を行い、再資源化を推進
・廃プラの分別により、マテリアル・ケミカルリサイクルを促進

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
以下の取組を継続して実施する。
■ゼロエミッション活動の継続実施
・工種や施工段階に応じた分別を行い、再資源化を推進
・廃プラの分別により、マテリアル・ケミカルリサイクルを促進

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>―　t</td><td>―　t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="3"></td><td rowspan="3">②計画</td><td colspan="2">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7"></td><td rowspan="7">① 現状</td><td colspan="2">【前年度（令和６年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1984.6 t</td><td>58.4 t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>864.6 t</td><td>50.4 t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1984.6 t</td><td>58.4 t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>— t</td><td>— t</td></tr>
<tr><td colspan="4">（これまでに実施した取組）
・処理委託施設の定期的な施設確認の実施、二次処理先、再生委託先の把握、及び最終処分先の確認
・特定建設資材のリサイクル率100%施設の確保
・メーカーリサイクルの積極利用を軸としたゼロエミッション活動のさらなる推進
・電子マニフェストによる運用を徹底し処理状況を管理</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>がれき類</td><td>木くず</td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>1050ｔ</td><td>63ｔ</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>500ｔ</td><td>60ｔ</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>1050ｔ</td><td>63ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>―　ｔ</td><td>―　ｔ</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>―　ｔ</td><td>―　ｔ</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
以下の取組を継続して実施する。
・処理委託施設の定期的な施設確認の実施、二次処理先、再生委託先の把握、及び最終処分先の確認
・特定建設資材のリサイクル率100%施設の確保
・メーカーリサイクルの積極利用を軸としたゼロエミッション活動のさらなる推進
・電子マニフェストによる運用を徹底し処理状況を管理</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

１　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに１枚作成すること。

２　当該年度の６月30日までに提出すること。

３　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

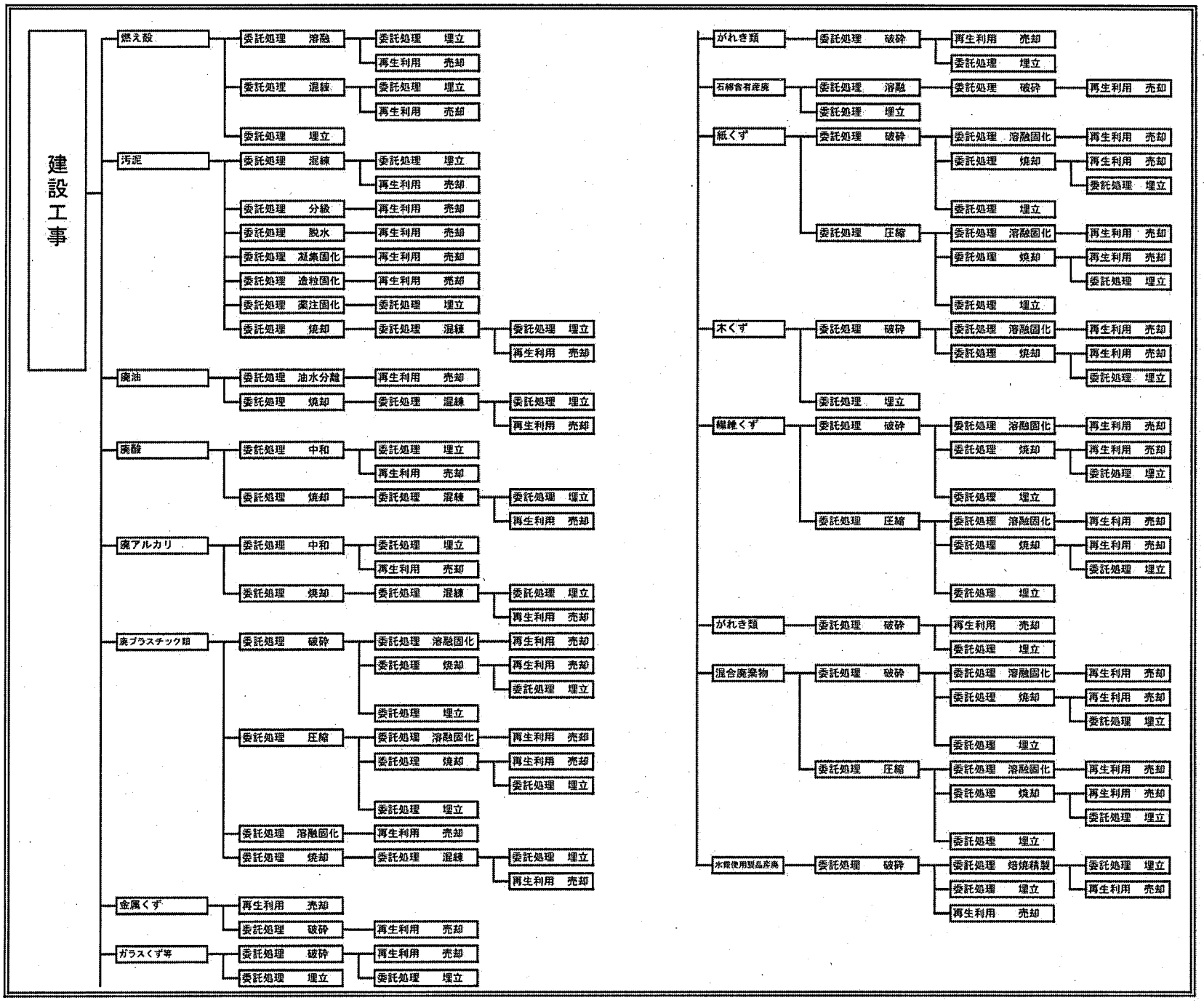
４　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

５　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

６　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が３以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

７　※欄は記入しないこと。

別紙1「産業廃棄物の一連の処理工程」



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	排出量	1604.5ｔ	152.1ｔ	34.4ｔ	47ｔ	45.3ｔ	4.9ｔ	3.2ｔ
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	排出量	341.0ｔ	120.0ｔ	15.0ｔ	127.1ｔ	29.0ｔ	6.0ｔ	4.0ｔ
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
①現状	【前年度（令和６年度）実績】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ	―ｔ

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	全処理委託量	1604.5 t	152.1 t	34.4 t	47.0 t	45.3 t	4.9 t	3.2 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1604.5 t	152.1 t	34.4 t	46.9 t	45.3 t	4.9 t	3.2 t
	再生利用業者への処理委託量	1599.3 t	152.1 t	t	46.9 t	45.3 t	4.9 t	3.2 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
②計画	【目標】							
	産業廃棄物の種類	汚泥	混合廃棄物	石綿含有産業廃棄物（非飛散性アスベスト）	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	紙くず
	全処理委託量	341.0 t	120.0 t	15.0 t	127.1 t	29.0 t	6.0 t	4.0 t
	優良認定処理業者への処理委託量	341.0 t	120.0 t	15.0 t	127.1 t	29.0 t	6.0 t	4.0 t
	再生利用業者への処理委託量	300.0 t	120.0 t	t	127.1 t	29.0 t	6.0 t	4.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		排　出　量	1.2ｔ	3.1ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		排　出　量	0.5ｔ	1.0ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	―　ｔ	―　ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	―　ｔ	―　ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	―　ｔ	―　ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
		自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	―　ｔ	―　ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の種類	―　ｔ	―　ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ
		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	―　ｔ	―　ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ	ｔ

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項									
	①現状	【前年度（令和６年度）実績】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		全処理委託量	1.2 t	3.1 t					
		優良認定処理業者への処理委託量	1.2 t	3.1 t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	— t	— t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	t	t	t	t	t
	②計画	【目標】							
		産業廃棄物の種類	廃油	廃アルカリ					
		全処理委託量	0.5 t	1 t					
		優良認定処理業者への処理委託量	0.5 t	1 t	t	t	t	t	t
		再生利用業者への処理委託量	— t	— t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	t	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t	— t	t	t	t	t	t

様式第二号の九（第八条の四の六関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和7年6月20日

千葉市長　　殿

提出者
住所　千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号
ﾜｰﾙﾄﾞﾋﾞｼﾞﾈｽｶﾞｰﾃﾞﾝ　ﾏﾘﾌﾞｲｰｽﾄ棟5F
氏名　鹿島建設株式会社　東京建築支店
千葉営業所　所長　岡田　友良
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号　　03-6838-0326

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	鹿島建設株式会社　東京建築支店　千葉営業所
事業場の所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号 ワールドビジネスガーデン　マリブイースト棟5F
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和６年4月1日から令和７年3月31日まで

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1066t	全処理委託量	1066t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	1066t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1058t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

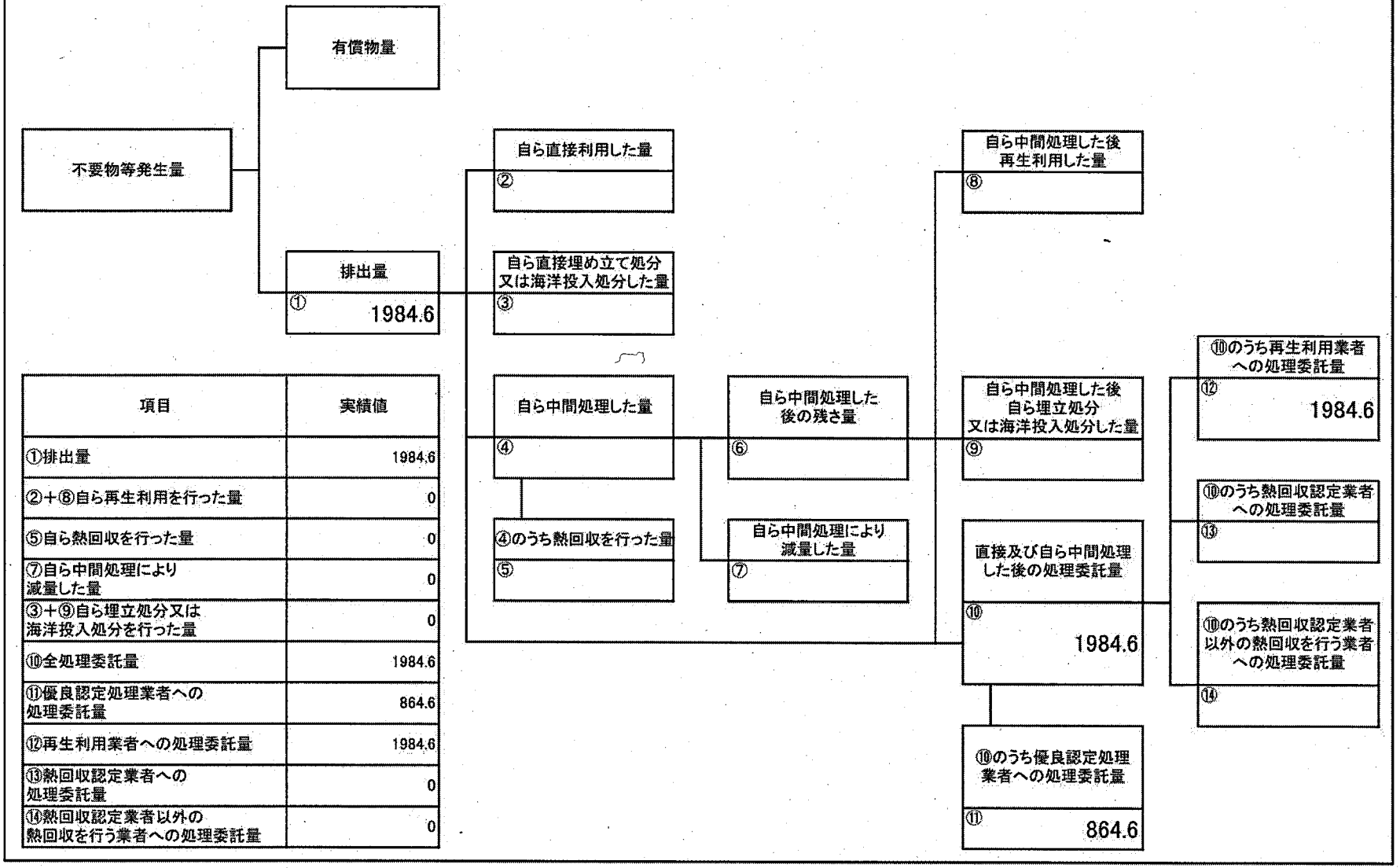
※事務処理欄	

（日本産業規格　A列４番）

（第2面）

計画の実施状況

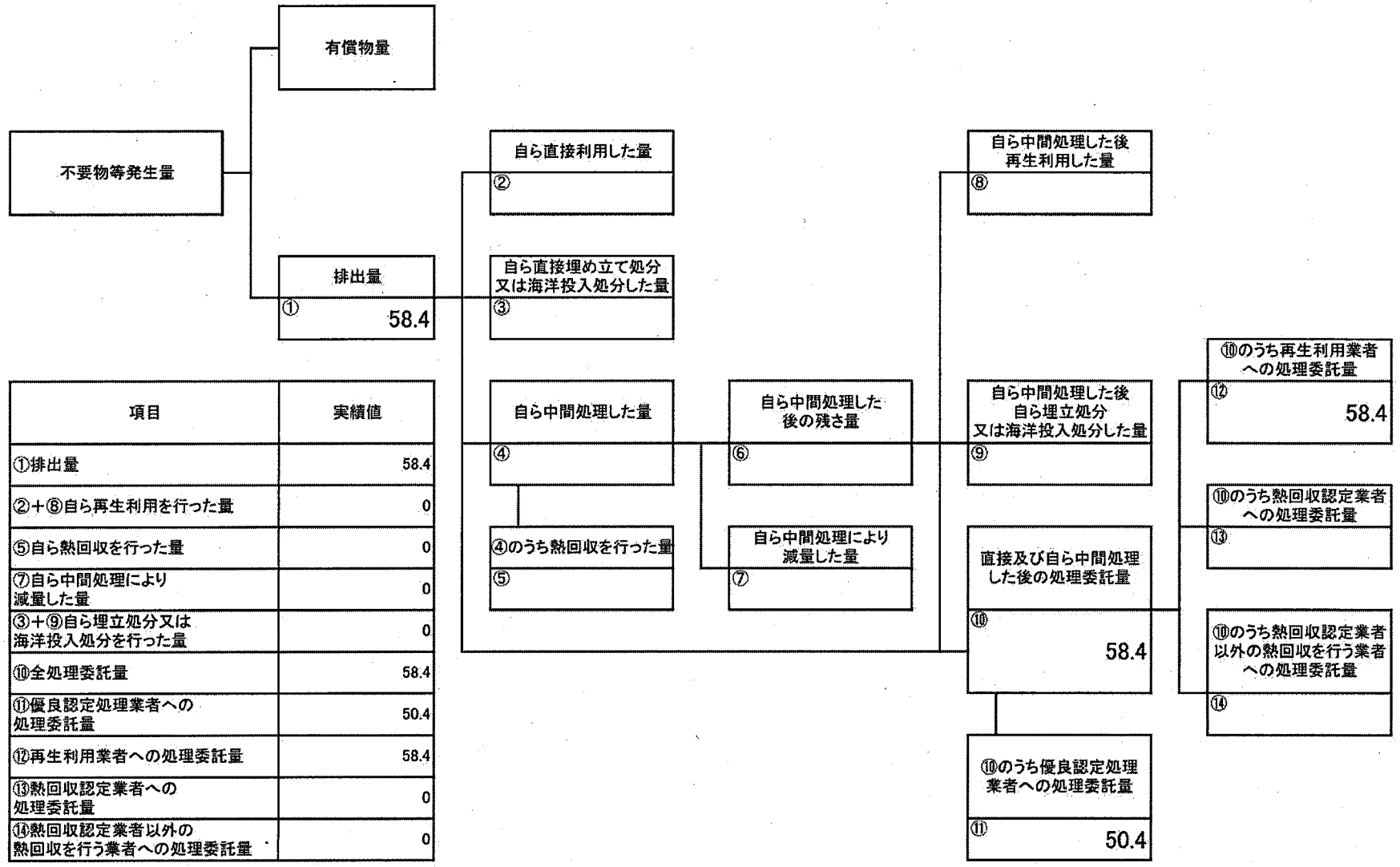
（産業廃棄物の種類 がれき類 ）



項目	実績値
①排出量	1984.6
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1984.6
⑪優良認定処理業者への処理委託量	864.6
⑫再生利用業者への処理委託量	1984.6
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

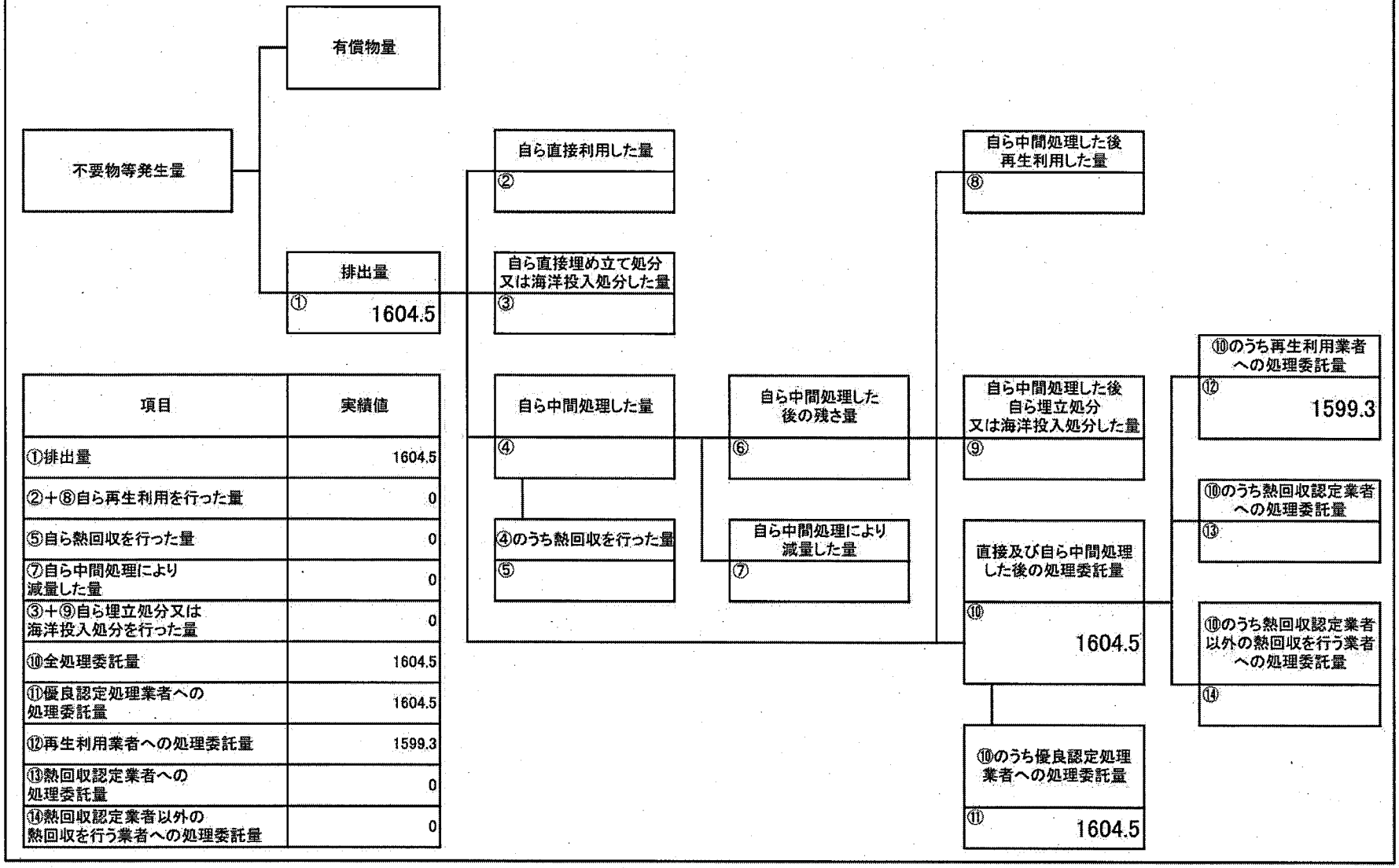
（産業廃棄物の種類 木くず　　）



項目	実績値
①排出量	58.4
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	58.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	50.4
⑫再生利用業者への処理委託量	58.4
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

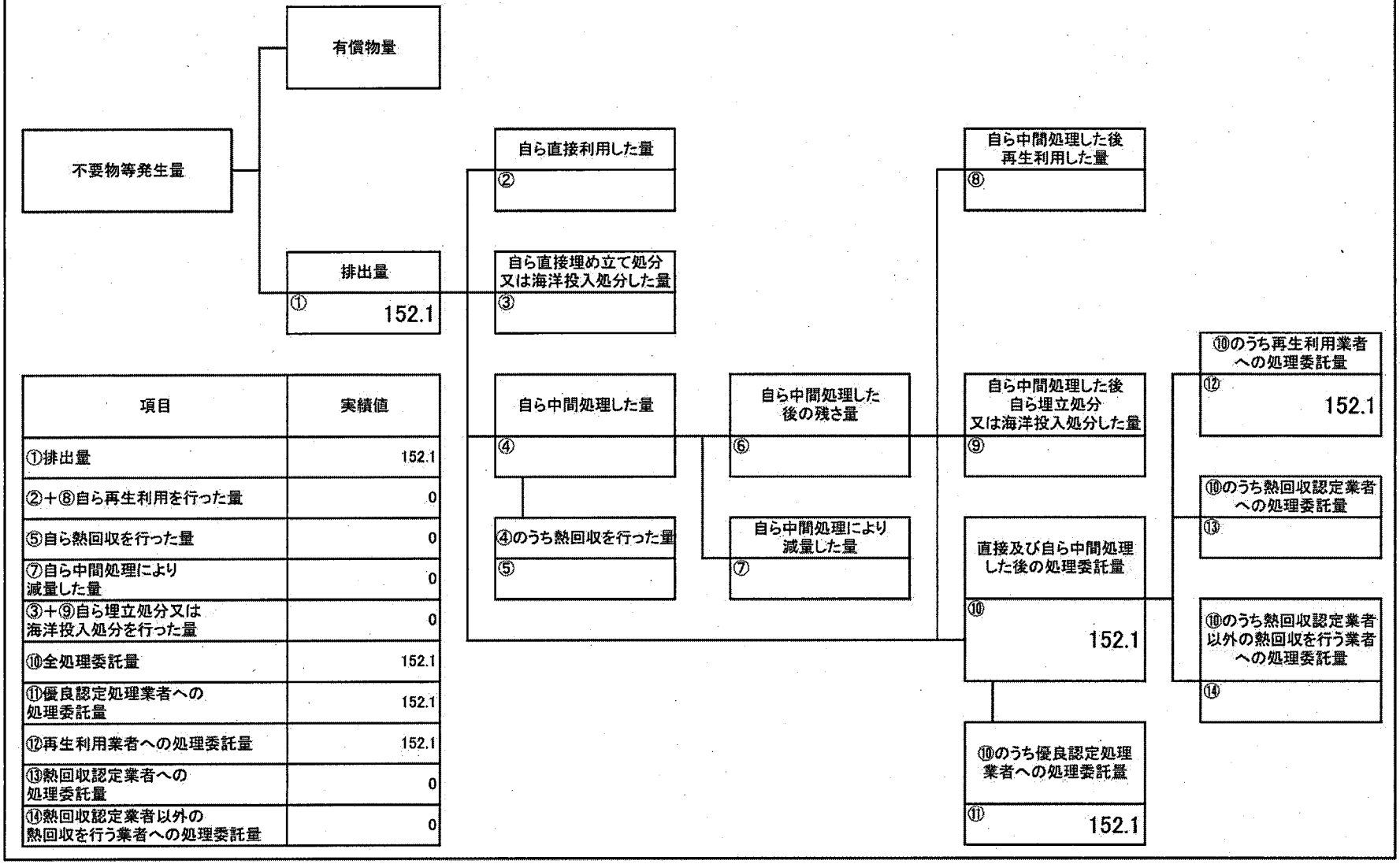
（産業廃棄物の種類 汚泥 ）



項目	実績値
①排出量	1604.5
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1604.5
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1604.5
⑫再生利用業者への処理委託量	1599.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

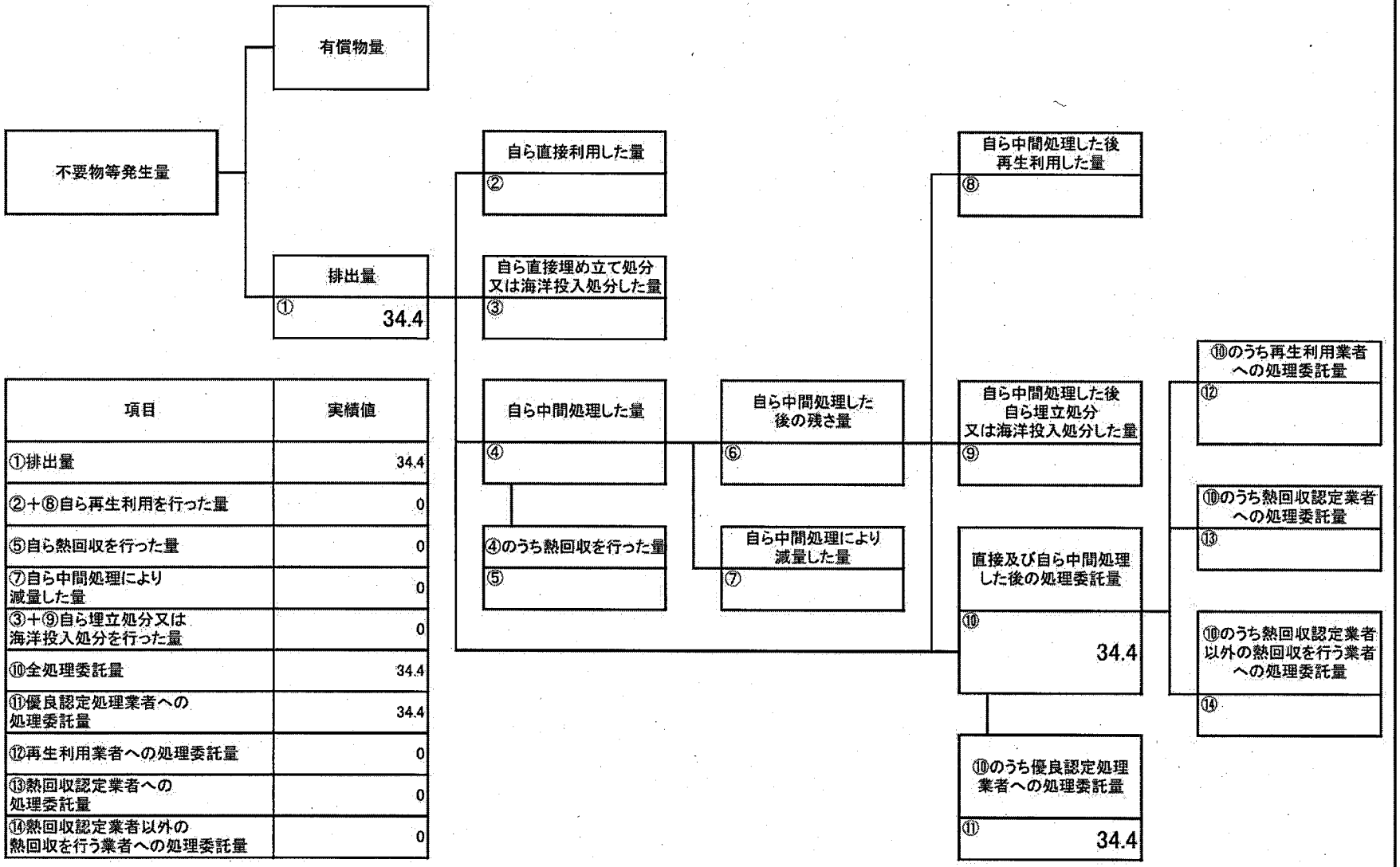
（産業廃棄物の種類 混合廃棄物 ）



項目	実績値
①排出量	152.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	152.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	152.1
⑫再生利用業者への処理委託量	152.1
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

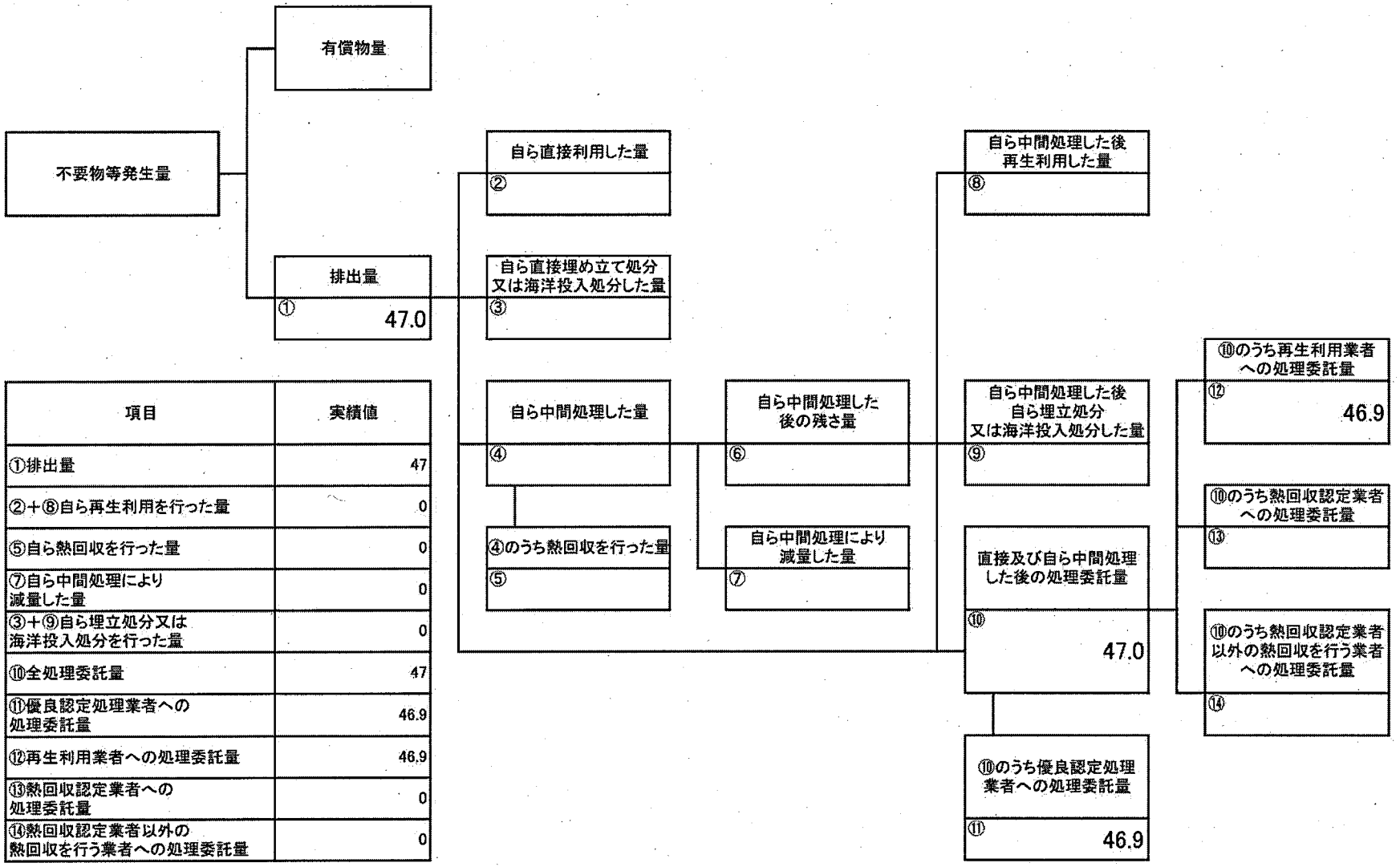
（産業廃棄物の種類 石綿含有廃棄物（非飛散性アスベスト））



項目	実績値
①排出量	34.4
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	34.4
⑪優良認定処理業者への処理委託量	34.4
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

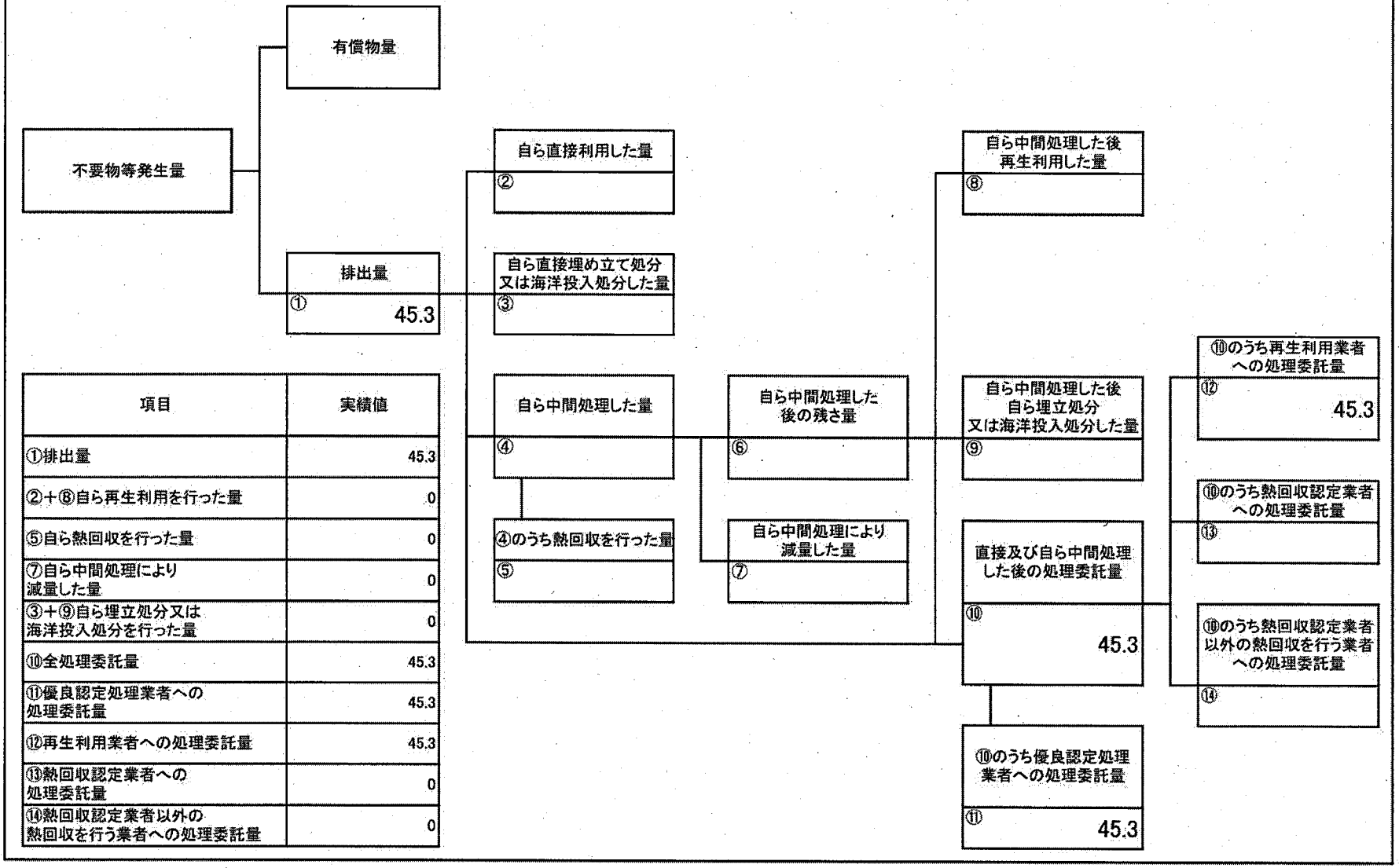
（産業廃棄物の種類 ガラス・陶磁器くず　　）



項目	実績値
①排出量	47
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	47
⑪優良認定処理業者への処理委託量	46.9
⑫再生利用業者への処理委託量	46.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

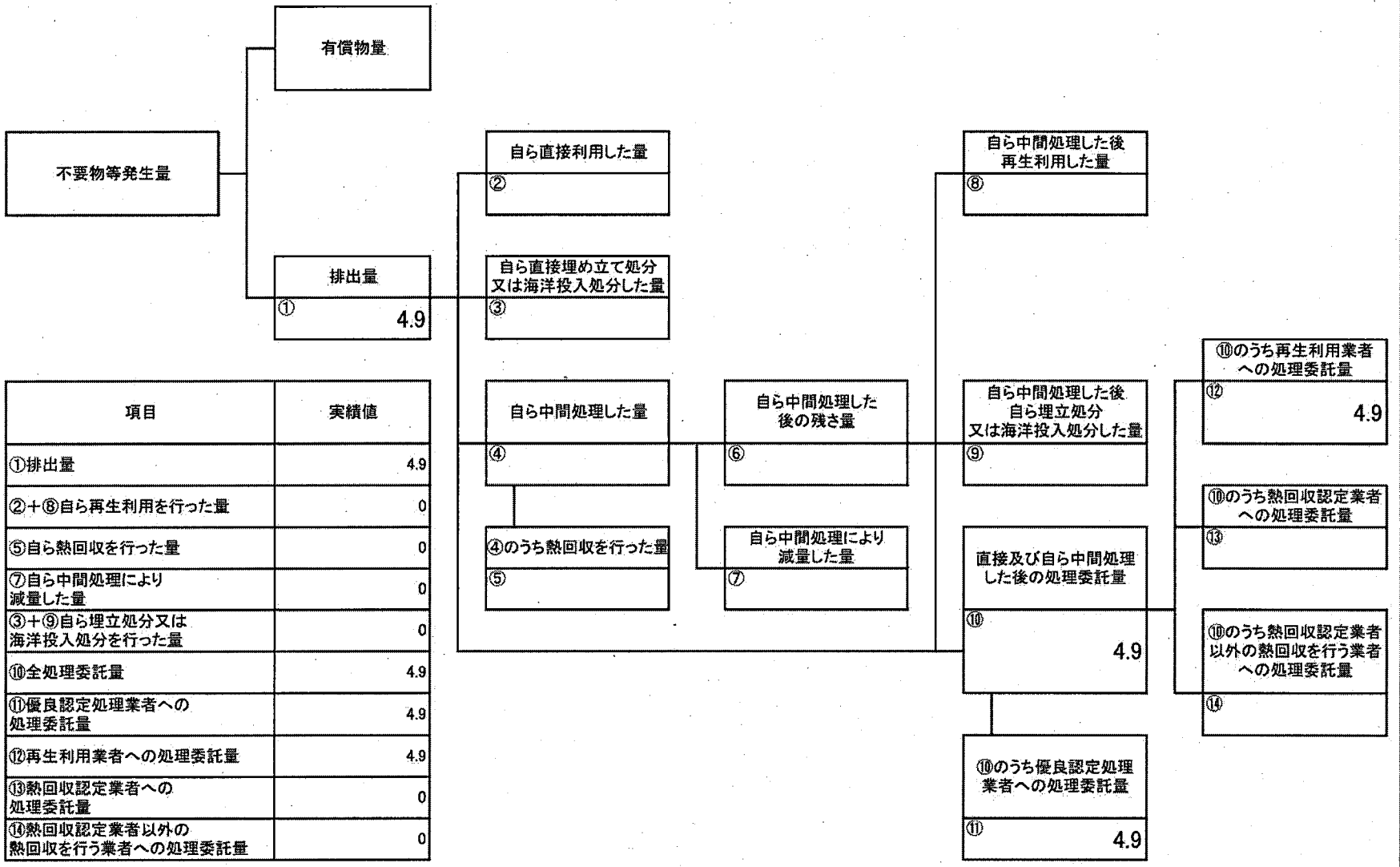
（産業廃棄物の種類 廃プラスチック類　　）



項目	実績値
①排出量	45.3
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	45.3
⑪優良認定処理業者への処理委託量	45.3
⑫再生利用業者への処理委託量	45.3
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

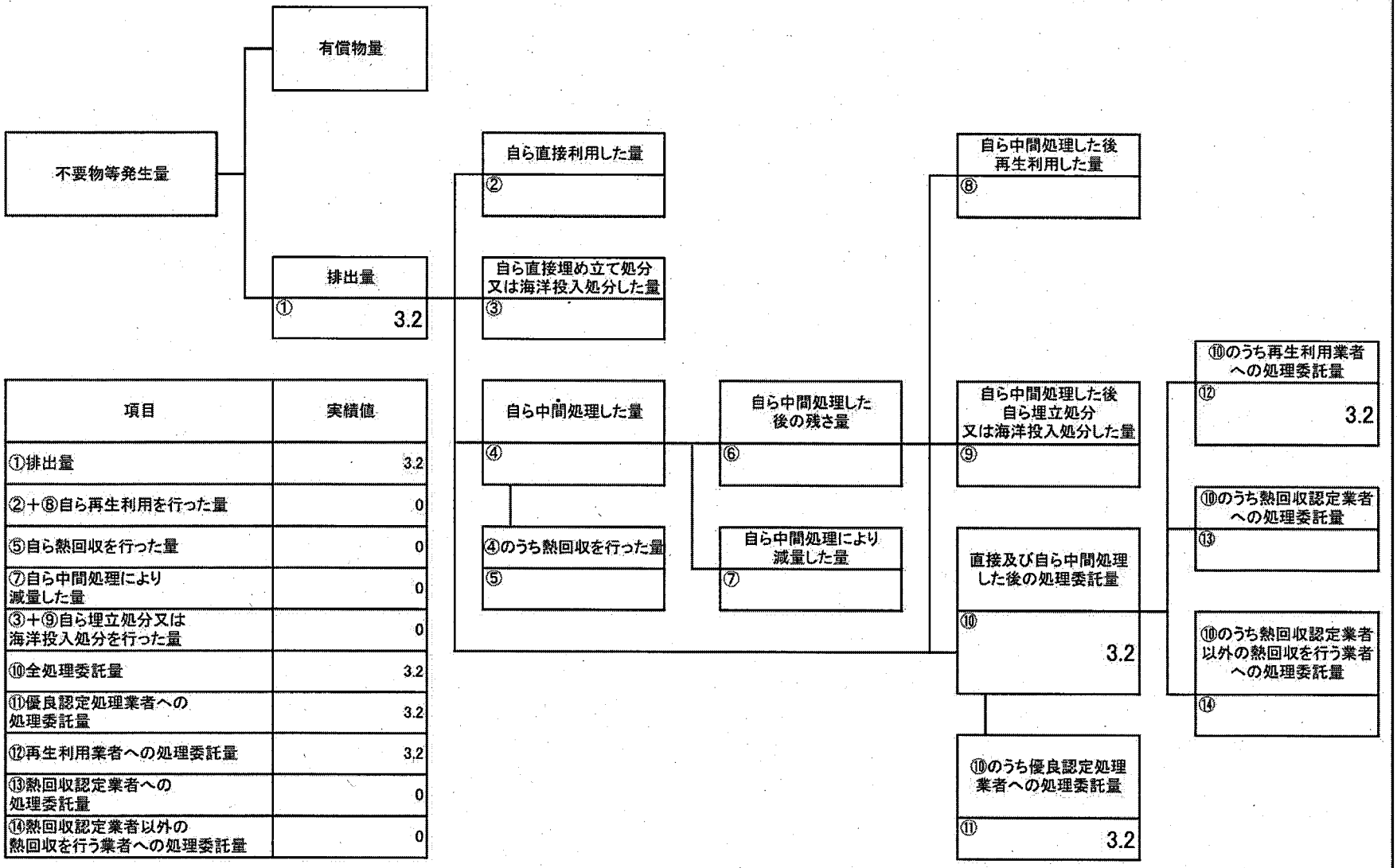
（産業廃棄物の種類 金属くず　　）



項目	実績値
①排出量	4.9
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	4.9
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.9
⑫再生利用業者への処理委託量	4.9
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

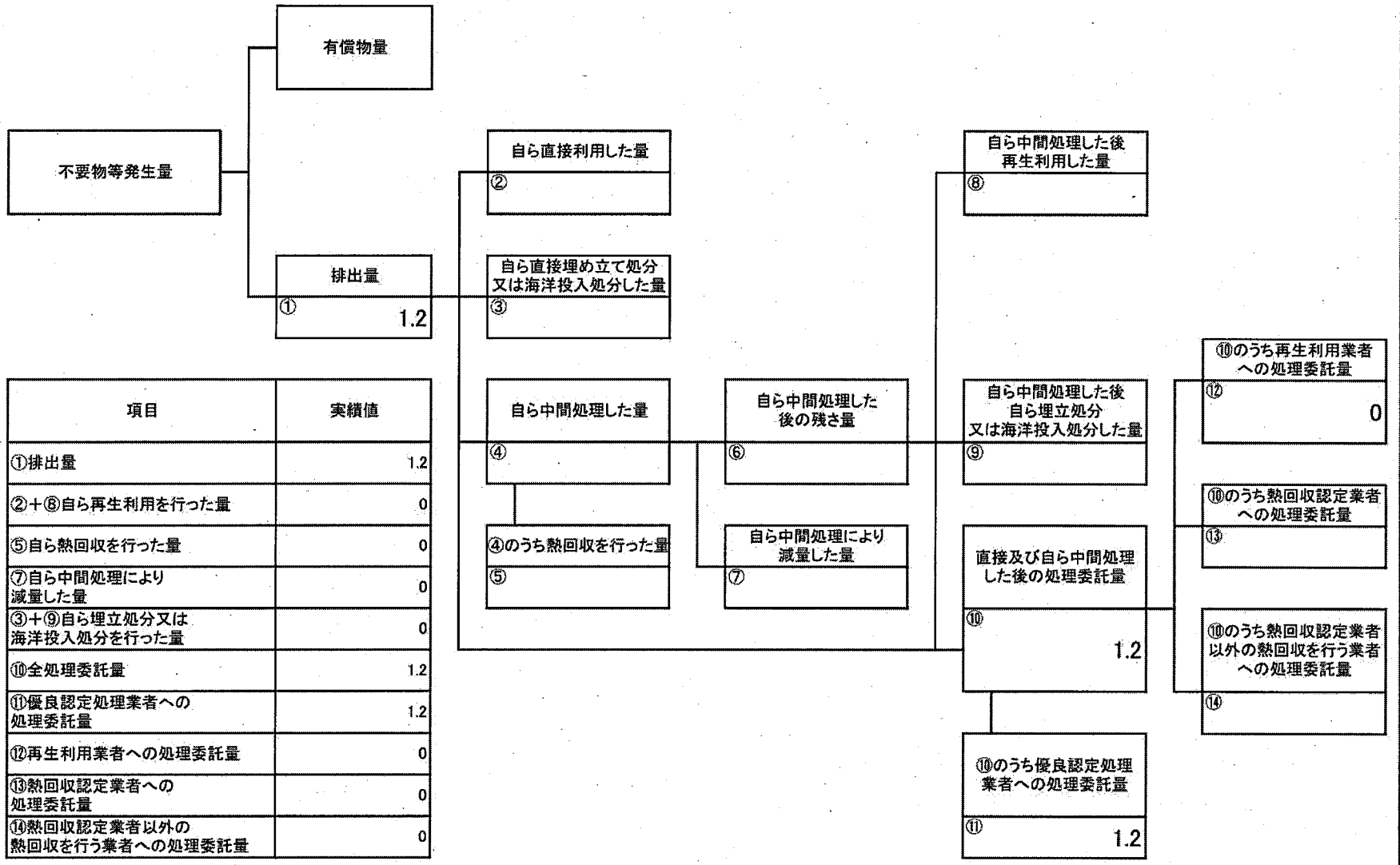
計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 紙くず　　）



項目	実績値
①排出量	3.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.2
⑫再生利用業者への処理委託量	3.2
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

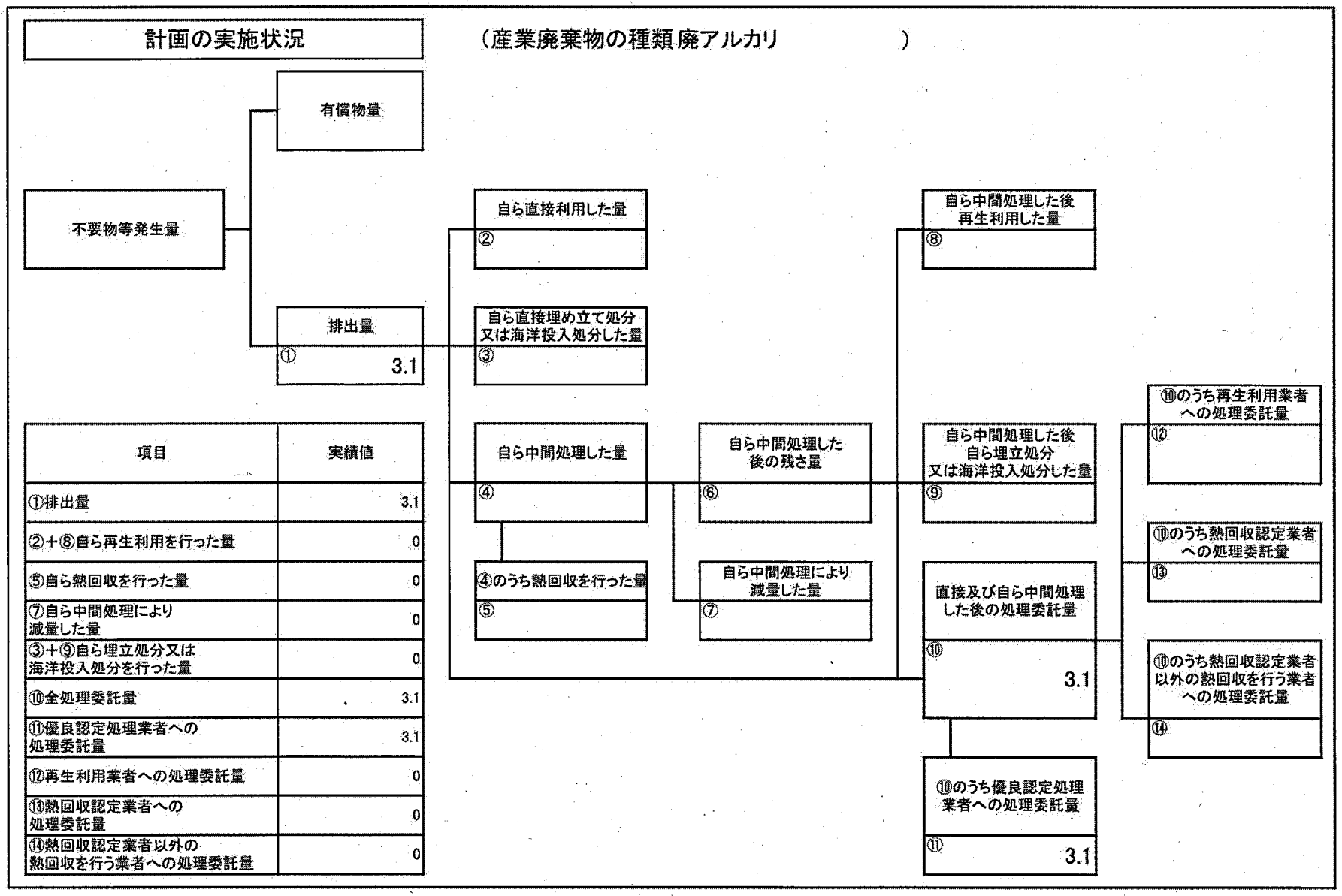
計画の実施状況　（産業廃棄物の種類 廃油 ）



項目	実績値
①排出量	1.2
②＋⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③＋⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	1.2
⑪優良認定処理業者への処理委託量	1.2
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

計画の実施状況

（産業廃棄物の種類 廃アルカリ ）



項目	実績値
①排出量	3.1
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	3.1
⑪優良認定処理業者への処理委託量	3.1
⑫再生利用業者への処理委託量	0
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

備考

1　翌年度の６月３０日までに提出すること。

2　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

3　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。

4　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。

(1)　①欄　当該事業場において生じた産業廃棄物の量

(2)　②欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量

(3)　③欄　(1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

(4)　④欄　(1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量

(5)　⑤欄　(4)の量のうち、熱回収を行った量

(6)　⑥欄　自ら中間処理をした後の量

(7)　⑦欄　(4)の量から(6)の量を差し引いた量

(8)　⑧欄　(6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量

(9)　⑨欄　(6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量

(10)　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量

(11)　⑪欄　(10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の11第２号に該当する者）への処理委託量

(12)　⑫欄　(10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量

(13)　⑬欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量

(14)　⑭欄　(10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量

5　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。

6　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。

7　※欄は記入しないこと。